

アルドステロン・活性型レニン 検査方法変更と 「アルドステロン/レニン」報告開始のお知らせ

22-007 (2022 Feb.)

サポートライン
2147

このたび、掲題の検査項目について検査試薬を変更いたします。それに伴って基準値等に変更がございます。また新規計算項目として「アルドステロン/レニン」を報告します。

2022年2月1日（火）受託分から

- 変更となる項目 : 以下別掲の通り
- 検査場所 : LSIメディエンス（外注）

検査項目	変更内容	新	旧
アルドステロン	検査方法	CLEIA (LC-MS/MS法相当値)	CLEIA (RIA法相当値)
	基準値	4.0 ~ 82.1 pg/mL	170 pg/mL 以下 (随時)
	報告下限	4.0 pg/mL 未満	17.0 pg/mL 未満
	所要日数	2 ~ 3日	同左
	実施料	125点	同左
アルドステロン[尿]	検査方法	CLEIA (LC-MS/MS法相当値)	CLEIA (RIA法相当値)
	基準範囲	1.0 ~ 19.3 µg/day	10 µg/day 以下
	所要日数	3 ~ 5日	同左
	実施料	125点	同左
	備考	塩酸 および C-ペプチド安定 化剤は使用しないでください	蓄尿用の保存剤の影響はありません
活性型レニン濃度 (PRC)	検査方法	CLEIA	CLEIA
	基準範囲	2.21 ~ 39.49 pg/mL	1.2 ~ 35.4 pg/mL (随時)
	報告下限	0.20 pg/mL 未満	0.6 pg/mL 未満
	所要日数	2 ~ 3日	同左
	実施料	108点	同左
アルドステロン / レニン活性	アルドステロンとレニンを同時にオーダーいただくと		
アルドステロン / 活性型レニン	自動計算して報告します		

検査部サポートライン (PHS : 2147)

検査部 : 中西 (PHS : 6204) ・ 増田 (PHS : 2144) ・ 西山 (PHS : 2141)

京都大学医学部附属病院検査部

<https://clinical-lab.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>

kensa@kuhp.kyoto-u.ac.jp

KU:P

一次サンプル
採取マニュアル

アルドステロン[血液]

サポートライン
2147

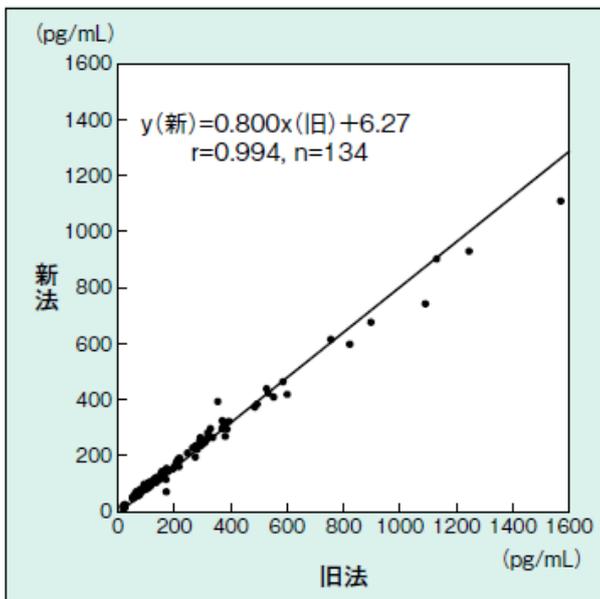
● アルドステロン[血液]

2021年10月に日本内分泌学会から発表された「**原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021**」では、アルドステロン測定値はCLEIA法によるLC-MS/MS相当値を基準として判定することが推奨され、臨床判断の基準値（カットオフ値）の見直しも行われました。

これまでの検査試薬は**RIA法相当値が得られるCLEIA法試薬**での検査結果であったため、LC-MS/MS法相当値で判定するためには、RIA法相当値に係数0.78を乗ずることが必要でしたが、このたび上記ガイドラインで示された**LC-MS/MS法相当値が得られるCLEIA法試薬**に変更いたします。

検査項目	変更内容	新	旧
アルドステロン	検査方法	CLEIA (LC-MS/MS法相当値)	CLEIA (RIA法相当値)
	基準値	4.0 ~ 82.1 pg/mL	170 pg/mL 以下 (随時)
	報告下限	4.0 pg/mL 未満	17.0 pg/mL 未満
	所要日数	2 ~ 3日	同左
	実施料	125点	同左

● 新旧の相関



血液

LSIメディエンス検討

● 検査結果報告について

2月1日～2月28日までの1ヶ月間は、新旧の試薬にて両方を測定して検査結果報告いたします。

検査オーダーは、新旧両方を入力いただく必要はございません。

内分泌検査(外注)	
血液	
ACTH	36.1
抗TG抗体	12
カルシオン[ECLIA]	0.50mmol/L
アルドステロン[(旧)CLEIA]	120.0
アルドステロン[CLEIA]	102.3
レニン活性(PRA)	1.2



アルドステロン[尿]

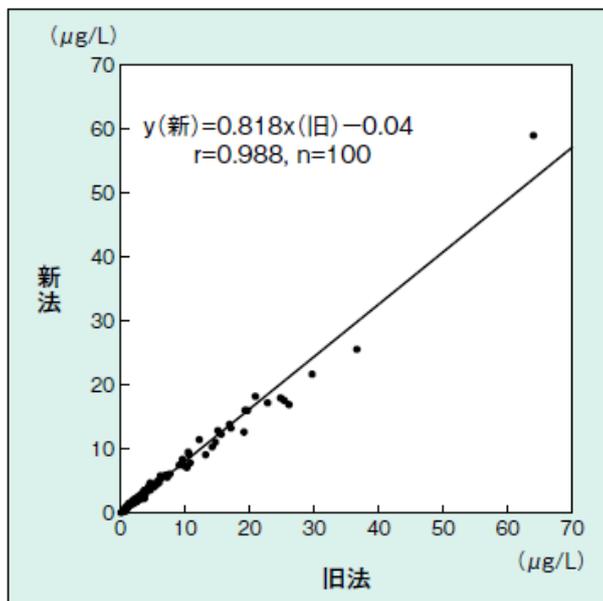
● アルドステロン[尿]

アルドステロン[血液]と同一の試薬に変更いたします。

これに伴い基準値と備考が変更となります。

検査項目	変更内容	新	旧
アルドステロン[尿]	検査方法	CLEIA (LC-MS/MS法相当値)	CLEIA (RIA法相当値)
	基準範囲	1.0 ~ 19.3 µg/day	10 µg/day 以下
	所要日数	3 ~ 5日	同左
	実施料	125点	同左
	備考	塩酸 および C-ペプチド安定 化剤は使用しないでください	蓄尿用の保存剤の影響はありません

● 新旧の相関



尿

LSIメディエンス検討



活性型レニン濃度 (PRC)

 サポートライン
2147

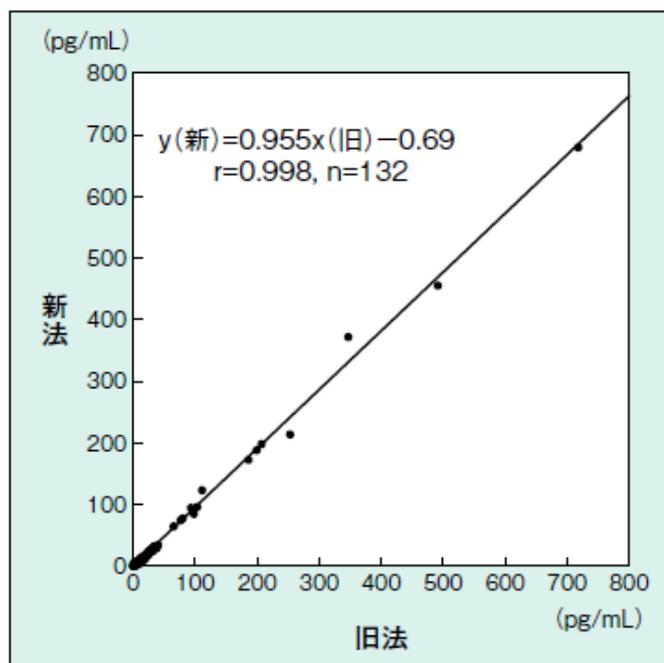
● 活性型レニン濃度 (PRC)

アルドステロン[血液]と関連する活性型レニン濃度 (PRC) についても、アルドステロンと同じメーカーの測定試薬に変更いたします。

これに伴い基準値などが変更となります。

検査項目	変更内容	新	旧
活性型レニン濃度 (PRC)	検査方法	CLEIA	CLEIA
	基準範囲	2.21 ~ 39.49 pg/mL	1.2 ~ 35.4 pg/mL (随時)
	報告下限	0.20 pg/mL 未満	0.6 pg/mL 未満
	所要日数	2 ~ 3日	同左
	実施料	108点	同左

● 新旧の相関



LSIメディエンス検討



アルドステロン/レニン (PAC/PRA・PAC/PRC)

22-007 (2022 Feb.)

サポートライン
2147

● アルドステロン/レニン (PAC/PRA・PAC/PRC)

アルドステロン[血液]とレニン活性 (PRA) もしくは アルドステロン[血液]と活性型レニン濃度 (PRC) を同時にオーダーいただきますと、自動的にアルドステロン/レニンを計算して報告します。

検査項目	変更内容	新
アルドステロン / レニン活性 (PAC / PRA)	カットオフ	200 未満 (境界域: 100 ~ 200未満)
	所要日数	3 ~ 4日
原発性アルドステロン症 (primary aldosteronism : PA) 判定基準 アルドステロン / レニン活性 \geq 200 かつ アルドステロン \geq 60 pg/mL 暫定的陽性: アルドステロン / レニン活性 100~200未満 かつ アルドステロン \geq 60 pg/mL		

検査項目	変更内容	新
アルドステロン / 活性型レニン (PAC / PRC)	カットオフ	40 未満 (境界域: 20 ~ 40未満)
	所要日数	2 ~ 3日
原発性アルドステロン症 (primary aldosteronism : PA) 判定基準 アルドステロン / 活性型レニン \geq 40 かつ アルドステロン \geq 60 pg/mL 暫定的陽性: アルドステロン / レニン活性 20~40未満 かつ アルドステロン \geq 60 pg/mL		

● 画面見本

内分泌検査(外注)		内分泌検査(外注)	
血液		血液	
アルドステロン[(旧)CLEIA]	157.0	アルドステロン[(旧)CLEIA]	16.9
アルドステロン[CLEIA]	} 計算対象 131.9	アルドステロン[CLEIA]	} 計算対象 13.2
レニン活性(PRA)		0.5	
アルドステロン/レニン活性(PAC/PRA)	264	アルドステロン/レニン濃度(PAC/PRC)	1

※ 新法のアルドステロンにて計算を行います。

